

サッポロビール協働契約栽培の取り組みを紹介

～ “エシカル購入国際シンポジウム in 札幌” にて 先進的調達システムとして～

サッポロビール(株) (社長：尾賀真城、所在地：渋谷区) は、2014年2月6日(木)に、さっぽろ Greener Week 運営協議会 (1) が主催する、“エシカル購入国際シンポジウム in 札幌” のパネル討論 “企業におけるCSR調達” にて、当社独自の原料調達システム“協働契約栽培”を先進的な取り組みとして事例紹介しました。

協働契約栽培は、フィールドマンと呼ばれる原料の専門家が全ての産地に出向き、原料の安全・安心と高品質を追求していますが、この取り組みは生産者との信頼関係を醸成し、ともに持続的な発展を目指すという意味で、先駆的なCSR調達の取り組みでもあります。

サッポロビールは、今後も協働契約栽培を通じて、原料の安全・安心と高品質、CSR調達に積極的に取り組み続けていきます。

1 さっぽろ Greener Week 運営協議会

さっぽろMICE推進委員会、日本コンベンション研究会、IGPN (国際グリーン購入ネットワーク)、グリーン購入ネットワーク (GPN)、公益財団法人北海道環境財団、一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構、北海道グリーン購入ネットワーク

記

1. エシカル購入国際シンポジウム in 札幌について

- (1) 開催日時 2月6日
- (2) 会場 ロイトン札幌 (北海道札幌市)
- (3) 内容 フェアトレードなど倫理面に配慮した調達として、国際的に注目を浴びる“エシカル購入”についての講演やパネル討論が実施されます。

2. 当社の事例紹介について

- (1) 発表者 サッポロビール株式会社購買部グループリーダー 佐藤 昌孝
- (2) 内容 サッポロビールのCSR調達と協働契約栽培について

以上